

平成 27 年第 15 回松阪市教育委員会定例会事項書

日時 平成 27 年 10 月 29 日（木）14 時 40 分

場所 松阪市立飯高東中学校 ランチルーム

■一般報告

教育長より

■報告事項

- 1 鎌田中学校校舎改築事業について
- 2 平成 28 年度松阪市立幼稚園園児募集の結果について
- 3 平成 27 年 9 月議会について
- 4 松阪市図書館指定管理者の指定について
- 5 市内小中学校に在籍する外国人児童生徒の状況について
- 6 平成 27 年度旧長谷川邸の公開状況等について
- 7 第 11 回松阪シティマラソンについて
- 8 P F I 導入可能性調査結果の報告について
- 9 第 4 回松阪飯高管内統合中学校準備委員会結果報告について
- 10 全国学力・学習状況調査の結果について
- 11 ホイアン視察の報告について
- 12 平成 27 年度 9 月児童生徒の問題行動等について

委員長 ただ今から、平成 27 年第 15 回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

最初に前回の会議録の承認を行います。会議録は、事前に委員さんに送付されており確認をいただいておりますので、よろしければ署名をお願いします。

(委員全員の承認による署名)

委員長 まず教育長から一般報告をお願いします。

教育長 ・全国学力・学習状況調査について
・松阪市学校支援地域支援事業について

委員長 ご質疑はございませんか。

(委員から「なし」の声)

委員長 それでは今回は議案がありませんので、報告事項に入ります。
報告事項 1 から 12 を事務局より説明願います。

(事務局より報告)

委員長 ただいまの事務局の説明に対し、ご質疑はございませんか。

委 員 全国学力・学習状況調査の結果分析についてですが、6 ページの部分になります。設問が児童・生徒ということですが、6 番の本居宣長の部分については児童に対する調査となっておりますが、その前には児童生徒に対する調査となっており、生徒はここでは入っていないのでしょうか。

事務局 児童・生徒に対する調査というのが正しいということになりますので、訂正させていただきます。

委 員 これは市民の方々にも公開されますよね。気になったのは今回の調査の主な改善点について番号をあげていただいておりますが、これ以外の設問については改善されていないという捉え方をしてしまったのですが、

そういった捉え方を市民の方がされてしまうといかがかなと思います
どうでしょうか。

事務局 それぞれの質問紙において、改善をされているあるいは改善されてい
ないものもありますが、多くが改善されております。ここにはそれぞれ
私どもが5つのチャレンジをどういう風に上手く取り組まれているか
という形で報告をあげておりますので、そういった捉え方も確かにあるか
と思います。

委 員 質問は 82 が最後になるのでしょうか。もっとありますか。

事務局 もっとあります。

委 員 そうしますと、これ以外の番号、改善されていないことの方が多
いような気がするのですが、そのあたりを懸念いたします。

質問の中に、ここに現れていない学習塾の通塾の率の問題等は質問事
項にははいていませんか。それが入っていれば、通塾が多い少ないと
いったことが学力にどのような関わり合いがあるかということ等がわか
るかと思うのですが。

事務局 児童生徒に対する質問紙で、学習塾・家庭教師も含むそういったと
ころで勉強をしていますかという質問があり、そのデータもきちんと出
ているところであります。

委 員 また後程でも構いませんので、データをお願いします。

また、16 の質問の中に、読書をしていますかという部分で 30 分以上し
ている割合が少ないことが気になります。また、17 番の休み時間の間に
図書館等にどれくらいいきますかという部分が低いので、気になります。
読み聞かせ等のボランティアにはたくさん入っていただいておりますが、
その割りに図書館へ行く割合も低いですし、読書の時間も少ないですの
で、重点的に力を入れていただきたいなと思います。

事務局 読書活動につきましては、いきがい学習課とも連携しながら取り組ん
でいるところがございます。ビブリオバトルがございましたが、そこに
中学生も参加し、本当に本が好きなんだなということを感じました。一
方で、児童生徒全体として捉えますと、このような結果が出てきており

ますので、やはり授業の中でも読書室を活用する等で本を読む活動をや
っていきたいと思いますし、保護者の方地域の方とも連携しながら、徐々
に改善の傾向にはあると思いますが、非常に重要なことであると捉えて
おりますので、力を入れていきたいと思っております。

また、10 ページのスマートフォンやゲームの部分についても改善の兆
しはありますが、まだ十分ではありませんので、ゲームに熱中する部分
を読書へと向けていきたいと思います。

教育長

事務局でも大きな課題であると捉えており、子ども達の読書意欲をも
っと推進していかなくてはいけないと感じております。

小学校への図書館司書の派遣を来年度しっかりと進めていきたいと思
います。今年度も入ってはいただいておりますが、今後充実させていた
だき、今日も司書さんと教諭が相談しながら図書室のレイアウト等を相
談しておりました。子ども達が図書室へいったときにアドバイスいただ
く職員がいたり、中には十分担当者が配置しきれない部分もありますの
で、もっともっと読書活動に興味をもっていただけるように、図書館司
書の配置を進めていきたいと思っております。

委 員

学校での取組もありますが、家庭での取組が大事だと感じています。
子どもが本を好きになるかどうかというのは保護者の責任大きく、小さ
い頃からの読み聞かせ等を推進する等、幼稚園や保育園の読書活動の推
進などを積極的にし、働いてみえて忙しいと思いますが、幼児期からの
読み聞かせ等が今後の学習意欲に繋がっていくということをもっとも
っと推進していく必要があると思っております。

また、生活改善チェックシートなどで読書の各校の取組などをされて
いますが、それは年に2・3回のことであり、常に親がそれを意識してお
りませんので、親への意識改革といえますか、保護者への意識調査等も
していただきたいなと思っております。保護者の意識改革が非常に大事だと思
いますので、松阪市独自でも構いませんので、保護者への意識調査を行
っていただければと思います。

事務局

意識調査という部分で、私達も考えていきたいと思っております。先程の質
問紙が何項目あるのかという部分ですが、小学校も中学校も87項目とな
っております。また、通塾率ですが、この項目は小学校では学習塾に通
っていない割合ということで、松阪市の教育委員会では小学校で43.1ポ
イント、それに対して全国は52.7ポイントでございます。これは通って

いない割合ですので、松阪市の方が通っている子が多いということになります。同じく中学校でも松阪市は32.8ポイントに対し、全国は38.9ポイントですので、通っている子は松阪市の方が多いということになります。

事務局長 補足になりますが、設問数については、児童生徒に対する設問が87項目であり、学校に対しては110項目程度あります。

委員長 総合的な調査ではなく、報道等で見られる部分的な調査で、例えば読書の時間と学力はどのくらいの間があるかなど、個々の条件、項目で見た場合の相関関係などを見るのが時々ありますが、ここにあるスマホの視聴時間と学力との間の個人データを付き合わせればデータとして出てくるかと思いますが、そのあたりが出せるような調査方式になっているのでしょうか。

教育長 クロス集計のことかと思いますが、ひとつの報告を絞り、そのことと学力がどういう関係があるのかということとはできます。それをやるとデータも多いですので、時間も要しますし、いろんな目を通して見ていく必要もありますので、そういったデータにつきましては何らかの形で出していくように検討していきたいと思います。

委員長 何を改善したら何がよくなったというような因果関係も調査しておく必要もあるかと思います。

教育長 そのあたりを今回の学校訪問で話をしておりますのは、学校で今後こういったことをしっかりと目標を立てて取り組んでほしい。それは当然学力が上昇するであろうと仮定した具体的な取組を行っていき、それが年度末にデータとしてどうであったかということを見せてほしいということで、年明けにまた管理職と面談する時間をとり、そのあたりのバックデータも示していただきながら確認していきたいと思っております。

事務局 クロス集計の件ですが、結果を文部科学省からいただく中で、クロス集計が可能かどうかということこれはなかなかできないかと思います。児童質問紙をとった段階で、何らかの形でコピーする等の形でおいておき、そこで調査結果全てが出たときにクロス集計というように、大学の教授などにはそういったデータがいつているのかもわかりませんが、クロス

集計は可能であると思いますが、大変難しいことだと思います。

委員長 例えば松阪市として何の関係しているのかというようなことを独自に調査するようなことはありえるのかなとも思いますがいかがですかね。

教育長 項目とデータを見ていく必要がありますので、やはりそのあたりは注目していきたいところですので、今後の取組を焦点化するあたりでも重要性をもっておりますので、今までのデータを見ながら考えていきたいと思えます。

委員 5番の項目の外国人児童生徒の状況ですが、松阪市内で外国人の方が増えてきているというのは実感しているところであります。特にフィリピンの方が増えてきていると実感していますが、あきらかに学校に通っているとされる子どもにこちらから質問しても受け答えをできない子どもが多く、学校で何を学んでいるのだろうと感じていますが、家族の状況等もありますので、学校の責任ではないと思えますが、同じように学力テストを受けたり、最終的には卒業証書を渡すわけですから、いっば教室で取り組んでいただいているのはわかるのですが、学校に通っている限りはもう少し厳しく日本語を学ばせたり、もう少し日本の環境に適合できるような能力をつけて、高校・大学への進学・就職へのサポートをするべきかと思えますがいかがでしょうか。

事務局 いっば教室の方では周囲への適応支援ということで、簡単な日常会話であるとかひらがなカタカナの読み書き、1年生の漢字の読み書きを目標としています。その後は各学校での対応となりますので、母語スタッフの派遣であるなどの学習支援を実施しております。また、日本語で学ぶ力が必要になってきますので、そのあたりの研究を進めているところで

教育長 やはり外国の子ども達に義務教育で学び、しっかり学力をつけて就職できる力をつけていかなければならないと大きな課題として捉えています。今説明がありましたが、初期の日本語をやっておりますが、現実には非常に人数が増えてくる中で、多いときには20人を超える中で、学校の中でそういった日本語を勉強したり、学校が力を入れているのは県の教育委員会と一緒にやっておりますが、普段の授業の中で、外国の子ども達に教科の力をつけていく授業方法がいかにあるべきかというところを

カリキュラムを組んで研究をしておりますので、松阪市はそういったところでも県としっかりと研究を進めております。

子ども達も実際に外国の子ども達が就職し、しっかり働いている。あるいは学校現場で教鞭をとっているという例も出てきておりますので、今後そういった子ども達がたくさん出てくるようにしっかりと支援していきたいと思います。

委員長 他にありませんか。

(委員から「なし」の声)

委員長 ないようですので、報告事項は承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

委員長 ご異議なしということでございますので、報告事項 1 から 12 は承認いたしました。その他の項ですが、何かございませんか。

事務局 次回の教育委員会定例会は、平成 27 年 11 月 26 日（木）午後 4 時 00 分から教育委員会室でお願いします。

委員長 他によろしいでしょうか。それでは、これで第 15 回松阪市教育委員会定例会を終わります。